

イベント情報

☆12月8日(木)中区横浜公園にて第25回「障害福祉の未来を考える
集い」を開催いたしました。<u>「当日の様子」</u>

「障害福祉の未来を考える集い 2016. 12. 8」@横浜公園！



市内100ヶ所を超える作業所・活動ホーム・グループホームから、当事者・家族・職員ら約1300名が集まり、青空と「障害者が安心できる街はだれもが暮らしやすい町」の横断幕の下、盛況のうちに行了われました。

今年のアドバルーンの標語は

- 「障害があっても住みやすい街を」
- 「個性が光るそんな社会の星（スター）になる」
- 「グループホームで楽しく暮らそう」

初めに主催者代表室津滋樹氏、来賓の横浜市健康福祉局障害福祉部、障害者支援センター、守る会連盟らからの挨拶や激励があり、その後アドバルーンの掲揚となりました。また今年も、被災地障害者支援計画（TEAM3）の一環として被災地の作業所よりオリジナル缶バッジを注文、参加者や市民に配布し、採用となった優秀デザイン賞の発表と感謝状の贈呈がありました。

当事者発表では作業所から泉区のおべんとうばこ、活動ホームから戸塚区障害者地域活動ホームしもごう、グループホームからグループホーム下宿屋の発表があり、仕事や生活の様子、願いや将来の夢、グループホームの充実などを口々に訴えていました。

障害者が安心して暮らせる地域社会を作り出すためにこれからも努めていくこと、特に障害者が自分の住みたい所を選んで住み、一人ひとりの人権が守られる社会を求めた集会宣言文の読み上げ（夢21上星川）の後、持ち寄った横浜市への手紙を健康福祉局障害福祉担当職員に気持ちを込めて手渡しました。



その後は OSMY（オスミー）のコンサートが会場を盛り上げました。

